

～命を守る大切な情報を届ける～

／ 防災無線をサポート ／

緊急防災ラジオを販売します

市では、地震や豪雨などの災害時に、防災無線で必要な情報をお知らせしています。防災無線から緊急情報が流れるときは、FM e-niwa の電波でも同じ情報を聞くことができます。今回販売する緊急防災ラジオは、停電時や夜間でも自動で電源が入り、防災無線の緊急放送を受信できる特別なラジオです。いざというときに備えて、ぜひ家庭に備えてみませんか。



※画像はイメージです

— 緊急防災ラジオとは？ —

普段は普通のラジオとして使用でき、災害などの緊急時には自動で電源が入り、防災無線の緊急情報を流すラジオです。 ※自衛隊の演習情報などの通常の防災無線の情報は流れません

平常時



通常のラジオとして使用

- ◆ AC/AD アダプタで電源供給
- ◆ 6 種類のラジオ放送が聴取可能

災害時



電源を切っていても自動起動

- ◆ 防災無線の緊急情報を放送
- ◆ 停電時は乾電池で電源供給
- ◆ 緊急放送は最大音量で放送

— 購入方法 —

販売開始日 11 月 20 日(木) ～

販売台数 先着 50 台 ※なくなり次第終了

販売価格 5,000 円 (税込)

販売場所 FMe-niwa (えにあす 1 階)

※市の助成制度により約 1/2 助成後の価格

緑町 2 丁目 1-1 ☎ 29-7778

問合せ先 基地・防災課 ☎ 33-3131 (内線 2243)

知って安心！ 冬の危険ポイント



冬期間の救急事故に注意！
冬は除雪作業や外出時の転倒など、積雪による思わぬ事故が増える季節です。
ちょっとした注意で、事故を未然に防ぐことができます。

転倒事故

- ・気温の変化で路面が凍結するため、「つるつる路面」に注意！
天気、気温を確認し、滑り止め靴などで安全対策を



●特に注意!! ～高齢者の転倒～

市内の 2024 年中の救急出動件数は 3,140 件。そのうち、65 歳以上の高齢者による転倒事故は 267 件で、全体の約 1 割を占めています。

高齢化がすすみ、今後も転倒事故や救急要請が増加すると考えられます。転倒による骨折は寝たきりの原因にもなり、その後の生活に大きな影響を及ぼすことがあります。特に北海道の厳寒期は、午前中の凍結路面での転倒が多く発生していますので、十分な注意が必要です。

転倒を防ぐポイント

- ・立ち上がるときは近くのものにつかまり、ゆっくりと動く
- ・着替えは椅子に座って行う
- ・歩くときはつま先を少し上げ、小さな段差に注意する
- ・時間に余裕をもって行動する

除雪事故

- ・冬特有の除雪作業時の事故に注意！ 天気、気温を確認し、安全に配慮して作業を

雪下ろし作業時のポイント

- ・作業前に気象情報を確認し、雪解けによる落雪に注意する
- ・雪が解けて屋根上が滑りやすくなっている時は特に注意する
- ・作業は 1 人で行わず、2 人以上で行う
- ・はしご使用時は必ず固定し、命綱やヘルメットを着用するなどの安全措置を行う
- ・雪を落とす場所に人がいないことを確認する



除雪機使用時のポイント

- ・安全機構を無効にしない
- ・オーガ内の雪づまりの時は必ずエンジンを停止する
- ・整備時は回転部(タイヤ、オーガ)への接触に注意する



冬の入浴事故

- ・浴室や脱衣所と居室との温度差により、急激な血圧変動を起こす「ヒートショック」に注意！

ヒートショックを防ぐポイント

- ・入浴前に脱衣所・浴室を暖める(ストーブ・浴室暖房・シャワーで予熱)
- ・お湯の温度は 41℃以下、入浴時間は10分以内で
- ・急に肩まで浸からず、かけ湯をしてから入浴する
- ・急に立ち上がらない、長湯をしない
- ・飲酒後や食後すぐの入浴は避ける
- ・高齢者や持病のある人には、家族が声かけを忘れずに
- ・異変に気づきやすくするため、入浴時は「一声かけて」から入浴する



顔が青白い、反応が弱い、ぐったりしているなどの症状が見られたら、直ちに 119 番通報を！

問合せ先 消防署島松出張所 (☎ 36-8439)